



2009年8月3日、ル・マン



開幕まであと3ヶ月！

2009年10月31日と11月1日に岡山国際サーキットで開催される2つのレースまで、あとわずか3ヶ月となった。

ル・マン・シリーズは現在、世界に広がりつつある。今年のル・マン24時間スタートの2日前に開かれたACO記者会見で、同ジェネラル・マネージャー、レミー・ブルワールは、ACOとパートナー各社が、近い将来（2010年または2011年）のインターコンチネンタル・トロフィー創設を視野に入れていることを確認した。そして今年、3大陸にわたるル・マン・シリーズ展開が現実のものとなる。

3ヶ月後の10月31日～11月1日、アジアン・ル・マン・シリーズは岡山国際サーキットで開幕する。2009年WTCC第21、22戦と併催されるこのイベントでは、3時間レースが土曜日と日曜日にそれぞれ行われる。LM P1、LM P2、LM GT1およびLM GT2各クラスの優勝者は、2010年ル・マン24時間への出場権を得る。質、量ともに期待される4つのカテゴリーでは、LM P1クラスにアストンマーチン・レーシング・チームが登場し、ペスカロロ、ペスカロロ・プジョー、オレカらと覇を競う。

アジアからのチーム（LM P1に東海大学、LM P2にNAVI TEAM GOH、LM GT1にTEAM NOVA、JLOC、そしてLM GT2にO'YOUNG RACING Team, Hong Kong Racing, TEAM DAISHIN、HANKOOK KTR）もエントリーが確認されており、ヨーロッパの強豪チームを地元で迎え撃つことになる。

しかしながら、11月7-8日に予定されていた上海戦は、開催には非常に厳しい経済状況によりキャンセルされることとなった。

世界各地に既に存在する主要レースによって構成され、開催される予定の上記インターコンチネンタル・トロフィー。その一環として、ル・マン・スタイルの耐久レースがアジアで開催され、その価値が共有されることをACOは確信している。

AUTOMOBILE CLUB DE L'OUEST
DÉPARTEMENT COMMUNICATION
 e-mail : presse@lemans.org